

国立武蔵野学院附属児童自立支援専門員養成所第72期 合格体験記

Ⅰ. Sさん（東京都出身 大正大学人間学部卒） 千葉県児童指導員合格

①私が「児童指導員」を目指した理由

子どもに関する仕事に就きたかったことから養成所に入所しました。そこで子どもに対するケースワークやケアワークの重要性を学び、児童福祉司を目指しました。

②私の勉強方法のポイント

養成所入所後は多忙なこともあり、なかなか勉強する時間がありませんでした。休日などの時間があるときにコツコツ勉強することが大事だと思います。また、苦手な分野やわからないことは同期に聞いて解決することも1つの手段だと思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

事前の準備にしっかり取り組んだことだと思います。2次試験の前には院長先生や養成所担当の先生に面接カードの添削をお願いしました。院長先生には5回程ご指導していただきました。面接の練習もしていただき、事前準備の積み重ねが合格に繋がったと思います。

Ⅰ. Yさん（鳥取県出身 高知大学人文学部卒） 神奈川県児童福祉職合格

①私が「福祉職」を目指した理由

武蔵野学院に入所前は養護施設で働いていました。その中で対人関係に困っている児童、家庭上手く繋がることができない児童たち過ごし、施設の職員方との繋がりがりや家庭への支援を行い、児童を取り巻く環境からサポートを行いたいと思ったためです。

②私の勉強方法のポイント

入所をする前から必ず勉強をしておきましょう。入所後は時間の確保が難しいので、提出物などを素早く終わらせ、寝るまでの時間や休日、休憩時間など隙間時間で勉強するしかないと思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

獲得できた理由で大きいものは面接練習だと思います。もちろん面接の質問に対する回答を考えておくことは必要ですが、それを学院の先生と練習を行い、客観的な意見を頂けたことが大きいと思います。私は練習を院長先生に引き受けてもらい、ご指摘いただいたところを再度練り直しました。

Ⅰ. Sさん（大阪府出身 関西福祉科学大学社会福祉学部卒）

児童養護施設職員合格

①私が「児童養護施設職員」を目指した理由

見学に行った際に職員の「地元で育った人間と関わって育っていくことを大切にしたい。」という話を聞き、自分の出身が役に立つのならと思い目指しました。

②私の勉強方法のポイント

面接試験の際にどのようなところなのか、どのような特色がある県なのか等、詳しく調べることが一番大切であると思います。当たり前のことですが、1番しておかなくてはならないことです。また、児童の関する自分の考えをしっかりとしておくことも大切であると思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

支えてくれた人たちの存在が大きかったです。私はなかなか就職先が決まらず、いくつ試験を受けても合格しませんでした。しかし、養成所の先生方に募集情報を教えて頂き、何度も試験に挑むことが出来たことが大きな理由であると思います。

Ⅱ. Sさん（宮城県出身 いわき明星大学人文学部卒）

宮城県児童自立支援専門員合格

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

児童と関わる中で、児童がこの人と関わって良かったと思えるような人になりたいと思い、児童自立支援専門員を目指そうと思いました。

②私の勉強方法のポイント

時間がない中でも工夫をして勉強をすることだと思います。配属中は日々の疲れもあり、なかなか勉強をすることは難しいと思います。一日数回や休日のまとまった時間のあるときに勉強をするなど自分なりに工夫することが大事だと考えます。また、わからない問題があれば同期の友人に聞くことも良いと思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

時間が確保できない中でも、工夫をして少しずつ勉強をすることができたからだと思います。2次試験に向けて面接カードの添削や面接練習を武蔵野学院の先生方をお願いし、試験時に自分の思いをしっかりと伝えることができたことが合格に繋がったと思います。

O. Rさん（愛媛県出身 愛媛大学教育学部卒） 愛媛県福祉職合格

①私が「愛媛県福祉職」を目指した理由

元々児童福祉に携わる仕事に就きたいと考えていたため、専門的に学ぶために養成所に入所しました。入所し実習で児童と関わる中でその思いはより強くなり、地元の福祉職を志望しました。

②私の勉強方法のポイント

養成所に入ってから時間は確保できないため、事前に試験勉強を進めておくことがおすすめです。養成所に入ってから時間は上手く使って勉強するしかありません。限りある時間の中で、頻出順などポイントを絞って勉強することも一つの方法かと思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

去年から筆記試験については勉強していたからだと思います。ある程度教養の問題が解ける状態で養成所に入ったので時間がない中でもなんとかできました。専門科目については養成所の講義でも関係するものがあり試験勉強に役立ちました。また、実習などの経験を通して感じたことや学んだことを面接で言えたことも合格できた理由だと思っています。

**K. Sさん（福岡県出身 梅光学院大学子ども学部卒）
神戸市児童自立支援専門員(非常勤)合格**

①私が「児童自立支援専門員」を目指した理由

私は初め、児童自立支援専門員を目指しているわけではありませんでした。武蔵野学院の職員の方々や入所児童との関わりの中で「児童自立支援専門員」という職の奥深さに惹かれたため、児童自立支援専門員を目指しました。

②私の勉強方法のポイント

私は面接試験のみだったので、児童自立支援施設の役割と児童自立支援施設に入所してくる児童に対しての私の想いをはっきりと明確に伝えられるよう、日々、児童の支援について考えを深めていきました。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

私は夏期実習でお世話になった施設への就職が決まりました。夏期実習で「ここで働けば必ず成長できる!」と思ったことが決め手でした。また、「僕はこれをやりたいんだ!」という強い意志があったからこそその選択だったと思います。『意志あるところに道あり!』

K. Mさん（三重県出身 同志社大学商学部卒） 埼玉県児童福祉司合格
東京都Ⅱ類(福祉)合格
千葉県児童福祉司合格

①私が「児童福祉司」を目指した理由

養成所での実習を通じ児童と関わる中で、施設内での児童本人に対する支援だけではなく、継続した支援、家族への支援の重要性を強く感じ、それに関わることでできる児童福祉司を志しました。

②私の勉強方法のポイント

本来は早い時期からコツコツと勉強すべきですが、入所後はなかなか時間が取れませんでした。効率的に勉強するために、教養科目では時間のかかる暗記科目より、こつが掴めれば多くの問題に対応できる数的処理に集中して取り組みました。選考採用の専門科目は児童福祉法など養成所での講義の内容が直結するものが多いので、講義の資料をもとに復習を行いました。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

社会人経験の中で培ったコミュニケーション力やストレス耐性、養成所で学んだ児童福祉に対する姿勢の両方をアピールし、評価していただいたのではないかと思います。

S. Kさん（宮城県出身 東北福祉大学総合マネジメント学部卒）
宮城県児童自立支援専門員合格

①私が「宮城県児童自立支援専門員」を目指した理由

宮城県の児童自立支援施設で子どもたちと関わる楽しさや職員の熱意に惹かれ、より専門的な勉強をしたいと思い武蔵野学院養成所に入所しました。入所後に夫婦制に魅力を感じ就職先について非常に迷いましたが、最終的には出身地である宮城県の子どものために働きたいと考え、決断しました。

②私の勉強方法のポイント

武蔵野学院に入所したら本当に時間が取れませんので今から目標を立てて勉強をすることをおすすめします。限られた時間で教養試験の問題を全て勉強するのは困難なことなので、その自治体の出題傾向を把握し出題数の多い問題を重点的に取り組むことが望ましいです。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

大学時代に宮城県の児童自立支援施設でのアルバイト経験や武蔵野学院での経験が面接時にアピールできたことが合格できたことだと思います。特に児童自立支援施設では武蔵野学院養成所卒業の人は即戦力として期待されているので一歩リードできます。

N. Yさん（三重県出身 皇學館学大学現代日本社会学部卒）

三重県社会福祉事業団乳児院合格

①私が「乳児院」を目指した理由

もともと児童福祉分野で活躍したいという気持ちがありました。養成所生として入所児童とかかわる中で、生活の些細な事で人は生きてきた生活環境がわかる時があることを感じました。特に食事場面においては、それが顕著に出るように思います。人は生まれてから死ぬまで、成長できる生き物であると思います。しかし、最も人としての基礎ができる時期は胎児、乳幼児期にあると思います。そんな1番大切な時期に、心を育みたいと考え目指しました。

②私の勉強方法のポイント

面接に向けて、自分の考えや養成所で学んだことをまとめ、面接官に上手く伝えられるようにしていきました。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

第一に、絶対に乳児院で働きたいという気持ちが強かったことが、内定の大きな理由であると思います。

H. Mさん（福島県出身 福島大学人間発達文化学類卒）

埼玉県保育士合格

①私が「埼玉県保育士」を目指した理由

養成所の同期が受けてみたらと勧めてくれたことがきっかけで保育士の募集を知ることができました。仕事の内容も児童相談所での勤務となっており、学んできた知識を生かしたいと思い目指しました。同期の勧めがなかったら受けていなかったのも同期にはすごく感謝しています。

②私の勉強方法のポイント

寮舎実習中でしたが、時間の合間を縫って今まで学習したことを忘れないように勉強はしていました。またいろいろと考えながら実習していたことが良い結果につながったように思います。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

一次試験対策は養成所に入る時から行っていたので問題なく通りました。二次試験では養成所で体験したことを織り交ぜながら具体的に話を行うこと。特に児童相談所実習後であったため、現場での経験も伝えられたことが合格につながったように思います。

H. Hさん（静岡県出身 英国大学院環境学研究科卒）

東京都Ⅰ類福祉職合格
大阪市社会福祉職合格

①私が「自治体福祉職」を目指した理由

児童相談所のケースワーカーになりたいと思ったから、というのが第一の理由ですが、養成所に入所してから児童自立支援施設のケアワーカーとしても働きたいと思うようになり、その両方を担うことが出来る自治体の福祉職を目指そうと思いました。

②私の勉強方法のポイント

教養の問題はとにかく数をこなして慣れることだと思います。専門の問題、私の場合社会福祉学や心理学、教育学、社会学などの中から複数選択する試験でしたが、これらは公務員試験対策用に販売されている参考書を買って、ノートに書き写しながら覚えていきました。実際に受験はしませんでした。法学書院「家裁調査官補問題と対策」は専門の勉強をしていく中で非常に役立ちました。

③私が合格・内定を獲得できたと思う理由

私は養成所に入所する前から、児童相談所のケースワーカーとして働きたいと考えていました。そのためには公務員試験に合格しないといけないということは理解していたので、受験したい自治体を早々に決め、養成所の入所試験と平行して2017年9月頃から公務員試験の勉強をしていました。養成所に入所する直前の2018年3月くらいまでに、ある程度公務員試験の応用問題（教養・専門ともに）は解けるようにしておきました。養成所に入所した4月以降は配属で忙しくほとんど勉強できませんでしたが、入所前に勉強しておいたおかげで合格できたと思っています。

一次試験合格後は面接試験の対策のために、院長先生と、東京都から人事交流で現在武蔵野学院に勤務されている先生にお願いして、面接練習をしていただきました。その際に養成所卒業であることを生かすようなアピールの仕方を指導していただいたおかげで、面接においても満足いくアピールが出来たといえます。